

平成 19 年 11 月 22 日

北アルプス広域連合 連合長
牛越 徹 殿

白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会
会長 宮田 温巳
(399-9301 北安曇郡白馬村北城

11020)

新ごみ処理施設建設計画の 白紙撤回（一時凍結）を求める要望書

白馬村内の 20 の団体（11 月 22 日現在）で構成する「白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会（以下、ごみ連協）」は、署名簿の作成を発足当初から活動のひとつとしてまいりました。本日、11 月 22 日現在の署名簿をお届けいたしますのでご高覧いただければ幸いです。なお、今回の活動で署名が全人口の半数を超えました。その点を重く受け止めていただきたくお願いいたします。内訳は以下のとおりです。

- (A) 第 1 次 (7 月 20 日提出)
 - 1. 村内 3,831 筆 (全村民の 41.4%)
 - 2. 村外 11,422 筆
 - 合計 15,253 筆
- (B) 第 2 次 (9 月 18 日提出)
 - 1. 村内 148 筆 ((A)(B)の合計 全村民の 43%)
 - 2. 村外 2,254 筆
 - 合計 2,402 筆
- (C) 第 3 次 (11 月 22 日提出)
 - 1. 村内 539 筆
 - 2. 村外 493 筆
 - 合計 1,032 筆
- (D) (A)(B)(C)の合計

1. 村内 4,518 筆 (全村民の 48.80%)
 2. 村外 14,169 筆
- 合計 18,687 筆

(E) エコランド地区提出分

村内 210 筆

総合計： 村内 4,728 筆 全人口〔9,262 人〕の 51.10%

村民の署名を示す数字は、署名簿に名前を載せるのをためらっている住民が相当数いる実情を勘案すると、全人口の半数をかなりの程度超えるものと推測できます。

また、村外の住民の署名を示す数字は、風光明媚な白馬村に魅せられ、飯森地区に新ごみ処理施設を建設することに疑問を抱く人たちが多数いることをはっきりと示していると考えられます。

私どもは、以上の数字が今回のごみ処理施設の建設計画に対する、村内・村外を問わず、白馬村をこよなく愛する多くの人たちの正直な気持ちを示していると考えます。

私どもは、候補地が存在する白馬村の住民の理解が得られていない以上、本計画の白紙撤回ないしは一時凍結を潔く決断されるよう改めて要望いたします。

なお、私どもは、ごみ問題の正常化のための具体策を、「建設計画の即時中止を一質問と提言」（10月25日付の連合長宛の文書）で提案しております。併せてご検討いただきますようお願いいたします。